

大津北警察署協議会議事録

開催日時	令和5年3月1日(水)午後1時から午後3時まで	
開催場所	大津北警察署 3階会議室	
出席者	委員	久保健会長、小畑雅裕副会長、北村尚美委員、中江晴介委員、馬場照美委員、東弘幸委員
	警察	署長、副署長、警務調査官、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長
議事概要	<p>1 開会の言葉</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から、「今日は、前回の警察署協議会で提案された、住民の安心・安全に向けた様々な意見を出していただけるように議論形式とさせていただく。本日も忌憚のない意見等をお願いする。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>会長から、「滋賀県は長寿県であり、高齢者も多く、特殊詐欺の被害に遭う方が多いので、いかに被害を無くしていくか市民目線から意見提言をしていきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 人材確保について</p> <p>警察から、警察官採用の概要について説明があり、警察官採用活動の周知状況や有効な採用活動方法について議論がなされた。その際、委員から、「警察のポスターやパンフレットは官公庁でしか見たことがない。」、「採用条件が緩和されていることやサイバー人材の特別採用枠があることなどを市民は知らない。」旨の意見がなされた。また、委員から、「多種多様な人材が採用されていることなどの魅力を前面に出して、外部にアピールするべきではないか。」、「小学生の交通安全教育に採用教育を盛り込んではどうか。」旨の提言がなされた。</p> <p>そのほか、委員から、「採用活動に関わる予算措置が必要である。」旨の発言があった。</p> <p>(2) 特殊詐欺被害抑止に向けた啓発活動について</p> <p>警察から、特殊詐欺被害抑止活動の概要や現状について説明があり、より</p>	

効果的な被害抑止策について議論がなされた。その際、委員から、「自治会で防犯教室を受けたことはない。」、「どこの自治会も弱体化しており細々とした活動しかできていない。」旨の意見がなされた。また、委員から、「ここ最近リモート会議が主流となっており、参加率も高く好評なので、警察活動の中にもリモートを導入してはどうか。」、「視覚的に情報を与える」と効果的ではないか。」、「年齢層に合わせた防犯教室を行うべきではないか。」「コンビニが最後の砦となる可能性が高いため、コンビニ大手とタイアップして従業員教育をしてもらってはどうか。」、「詐欺グループの音声を一通り聞くなどして、高齢者がどういうふうに信じてしまうのか経緯を具体的に教えてもらえると、模擬体験のようで記憶に残りやすいのではないか。」、「地区・地域単位で防犯教室を開催し、希薄化している住民同士のつながりができれば、地域ぐるみで被害を防止することができるのではないか。」旨の提言がなされた。